

お世話になっております。
フォローアップサポート合同会社の藤井です。
メルマガの配信をご希望いただいた方、以前に名刺をいただいた方々に感謝を込めて、配信させていただいております。

季節の変わり目で一日の寒暖差が大きく調子を崩しやすい状況が続いていますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。
明後日、9月29日はいよいよ「十五夜／中秋の名月」を迎えます。週末の天気予報通り良い天気になることを期待したいと思います。

話は変わりますが、最近ヘルスリテラシーの向上ということが盛んに言われています。企業価値を向上して行くためには従業員のヘルスリテラシーの向上が必要とのことですが、果たして自分の健康に関心を持たれている方はどれくらいいらっしゃるでしょうか？
私自身も直近で家族の術後サポート、介護が必要になった時に、健康で暮らせることの有難さを思い知らされている状況です。逆にいうとそういった経験を経て、周りの人へのアドバイスや支援が出来ることを大変有難いことと実感しています。

今回の記事では、ワーク・エンゲイジメントについて改めて紹介させていただきます。

※健康経営優良法人2024の申請締め切りは、大企業法人部門：10/13（金）、中小規模法人部門：10/20（金）の何れも17時です。

—2023年9月27日— □●

本号の主な内容

- 【ワーク・エンゲイジメント】組織と個人に向けた取り組みとは？
- 【産業医】産業医のご紹介について
- 【限定】健康づくりアプリの法人向けサービス
- 【新NISA】来年1月に導入される新NISAのメリットとは？

ワーク・エンゲイジメント

ワーク・エンゲイジメントとは、「仕事に誇りややりがいを感じている」、「仕事に熱心に取り組んでいる」、「仕事から活力を得ていきいきとしている」状態、即ち「熱意」、「没頭」、「活力」の揃った状態と位置づけられています。ワーク・エンゲイジメントの高い従業員は心身の健康が良好で生産性の高い状況と言えます。また、ワーク・エンゲイジメントの高い人は「心身の健康が良好で睡眠の質が高い」、「職務満足感や組織への愛着が高く、離転職や疾病休業の頻度が低い」、「自己啓発学習への動機づけがされており自分の役割に捕らわれない積極的な行動ができる」、「部下への適切なリーダーシップが行われる」など、心身共に健康で仕事や組織に関わり合い、良好なパフォーマンスを発揮できる状態にあるとも言えます。

ワーク・エンゲイジメントを高める方法には、組織で出来る「外的資源」を増やすことと、従業員一人一人が「内的資源」を強化することが上げられます。これらの活動をスムーズに展開するには関係者が共通の目的と考え方の枠組みを持つことが重要です。また、この共通する枠組みの一つにワーク・エンゲイジメントを概念とする「仕事の要求度－資源モデル」（島津明人著：新版ワーク・エンゲイジメント）に挙げられています。

組織がでできることとしては、管理監督者研修で取り上げられる知識やスキルメンタル不調となった部下だけでなく、それ以外の従業員のやる気や健康的な職場の実現に向けて効果を上げていくことが必要です。メンタルヘルスについては産業保健との連携も含めた視点で取り組むことも必要です。職場環境改善活動については、ストレスチェックで精神的不調の一次予防と、チェック結果の集団分析によって、職場・部門単位の分析結果を元に職場環境の改善に向けて取り組み、組織の活性化を図ることが望まれます。

厚生労働省の研究班でストレスチェックを活用した職場活性化の実施マニュアル (<https://hp3.jp/wp-content/uploads/2019/06/02.1.pdf>) が公開されておりますので参考にいただければと思います。

小さなことから少しずつ。健康経営とITの活用でお困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。

産業医のご紹介について

従業員が50名以上になられた企業様へ
毎年1回、ストレスチェック検査を全ての労働者※に対して実施することを含め、以下対応が義務付けられています。

1. ストレスチェックの実施
2. 産業医の選任
3. 衛生委員会の設置
4. 衛生管理者の選任

産業医をお探しでしたら、弊社からご紹介いたします。

当社も厚生労働省のSAFEコンソーシアムに参加し、労働安全衛生の立場からも支援させていただきます。

50名未満の企業についてもストレスチェックを推奨されていますのでお問い合わせください。

●「ご相談・ご意見・ご質問はこちら」よりエントリーください。

※ 契約期間が1年未満の労働者や、労働時間が通常の労働者の所定労働時間の4分の3未満の短時間労働者は義務の対象外です。

健康づくりアプリのご紹介

健康づくりアプリ「ココカラダイアリー」は、カラダの健康を支える3要素「運動・食事・睡眠」をはじめとする10項目の健康データの記録機能とストレス状態のセルフチェック機能により、毎日のココロとカラダの健康づくりをサポート。

法人のお客さまには、歩数ランキングや健康ポイント管理機能に加え、従業員のアプリ利用状況を集計・確認できる専用Webサイトをご提供します。

- ・健康データの記録
- ・ストレス状態の測定
- ・ヘルスリテラシーの向上・・・【お勧め】健康情報「からだケアナビ」、オンライン医療事典「MEDLEY」
特にオンライン医療辞典を搭載しているアプリは他には無いのでお勧めです。
- ・法人向けサービス

※本メルマガをご覧になられた法人様限定で、法人向けサービスを提供いたします。

<https://www.msa-life.co.jp/kokokaradiary/>

- 「ご相談・ご意見・ご質問はこちら」よりエントリーください。

今週の話題【新NISA】

来年1月に導入される新NISAのメリットとは？

物価高騰や老後不安を背景として、資産運用に興味を持つ人が増えています。国でも非課税制度等の施策で「貯蓄から投資」への流れを加速させようとしています。その柱の一つであるNISA（少額投資非課税制度）の刷新について、改めて内容を確認しましょう。

●NISAの大幅リニューアルで利便性が向上

金融庁の公表資料によると、2023年3月末時点のNISA口座数（一般・つみたて）は約1,874万口座、買付額の合計は約31兆5,816億円にのびます。制度開始の2014年から10年弱でそれなりに浸透したと言えますが、さらなる利便性向上を図るため、制度が大幅にリニューアルされます。2024年1月から導入となる、新NISAのポイントは次の通りです。

- ・非課税保有期間が無期限化され、口座開設期間も恒久化。
- ・「つみたて投資枠」「成長投資枠」の併用が可能。
- ・年間投資枠の拡大（つみたて投資枠：120万円、成長投資枠：240万円）により、合計最大年間360万円まで投資が可能。
- ・非課税保有限度額は、全体で1,800万円（成長投資枠は1,200万円）。また、枠の再利用が可能。

●非課税投資枠の復活で幅広い運用方針を反映

上記のように新NISAでは様々な面で利用メリットが大きくなりますが、今回注目したいのは「枠の再利用」という部分です。

現在の制度ではNISA口座で購入した金融商品を売却すると、売却分の非課税投資枠は復活しません。例えば一般NISAの年間非課税投資枠120万円のうち、100万円分の金融商品を購入してその年に売却した場合、同年に新しく購入できるのは残額20万円（120万円-100万円）です。翌年以降も投資枠は120万円が固定され、非課税保有期間も限られているため、売却のタイミングが難しい面もありました。

この点について新NISAでは、購入商品を売却した場合、その分の非課税投資枠が翌年以降に復活します。ただし復活するのは購入時点の価格で、年間の投資枠360万円が限度となります。

なお全体の非課税保有限度額は1,800万円なので、投資枠は復活しても無限に非課税で保有できるわけではありません。しかし限度額の範囲内なら金融商品の購入と売却が柔軟に行えるため、幅広い運用方針を反映できます。新NISA導入をきっかけにより多くの人が投資を行い、経済の活性化につながることを期待されます。

★このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。

このままご返信いただいてもお答えできませんので下記よりご連絡ください。

□メルマガの新規お申し込みはこちらから <https://fup-support.co.jp/mm/>

□バックナンバー <https://fup-support.co.jp/bk/>

□配信停止（登録解除）の手続き

<https://fup-support.co.jp/stop/>

●ご相談・ご意見・ご質問等はこちら <https://fup-support.co.jp/qa>

□発行元：フォローアップサポート合同会社 <https://fup-support.co.jp/>

★健康経営サポートメールマガジンは毎週水曜日に発行しています。

★等幅フォントでご覧ください。

★C o p y r i g h t (C) , 2022-Follow Up Support LLC

許可なく転載することを禁じます。